

戸田康之さん『マーク』(1月31日配信)

こんにちは！戸田です。よろしく。

今日のお話は、マークを元にした手話表現についてです。

ご存じの方も居ると思いますが、マークを表現する手話はいろいろありますよね。ナイキもマークの形を表わすことで表現できます。ソフトバンクの2本線もこのように表します。自動車メーカーのベンツもこのように表します。このようにマークを元に表現される手話は数多くあります。

私は今ろう学校の幼稚部で先生をしています。生徒との会話で、日曜日に家族で電車が多く展示されているところへ行って来たと言われました。ここ埼玉県では有名な場所で、鉄道の歴史や古い鉄道が展示されている鉄道博物館があります。さいたま市の手話はこのように表します。そのさいたま市に鉄道博物館はあります。鉄道ファンにはたまらない場所です。昔のSLが展示されていたり、特急や新幹線が実際に展示されているんです。運転を体験することもできるので、子供にも大人にも人気の施設です。鉄道博物館は有名な場所です。私も自分の子供を連れて行った経験があり、どのような施設か知っています。

生徒がいろいろな鉄道を見て楽しかったと言うので、施設名である鉄道博物館でしょと返しました。すると、生徒は訝し気な表情をします。自分が行った場所と私戸田が言っている場所が一致しているのか探っているのです。SLとかある場所でしょと言っても納得しません。その時生徒が、こういうマークだった？と聞いてきました。確かに鉄道博物館にはマークがあります。そう、そのマークの所だよと言うと、生徒は通じていると安心してその日のことを話し始めました。生徒はその施設を名称ではなくマークで認識していたため、マークを表現することで同じ所をイメージしているか確認したのです。

ろう者は目から情報を得ますから、マークを施設の表現としてしまうんですね。今後、鉄道博物館を表すときはこのマークでの表現が広まるかも・・・しれないですね。